

学校新聞

令和元年度

「薫風」第1号

5月29日(水)

薫風

～緑新たに風も薫れり～



発行元 東京都立大崎高等学校全日制課程 〒142-0042 品川区豊町2-1-7

キーワードは『主体性』

校長 豊岡 耕一郎

新しい元号『令和』が始まって早1か月、勉強に部活に忙しい日々を送っていることと思います。始業式の時、今年のキーワードは『主体性』ですと話しました。他人から言われるのではなく、自ら気づき、考え、行動すること、多少の失敗は恐れず高みを目指して頑張り続けることが大切であると話したのですが実行できていますか？先日、教育委員会の視察があつて2年生を中心に授業を見ていただきましたが、どの授業もみんな一生懸命取り組んでいる姿に、非常に感心していました。皆さんの日頃の頑張りを見ていただくことができ、大変うれしく思いました。ただ、発問や音読の時にもう少し声が大きければさらに良くなりますという指摘も受けました。確かに授業見学していても、小さい声で発言している人が多いようです。間違っても構わないので、普段よりちょっと大きな声で自信をもって答えられるようにしてください。普段の挨拶から心がけるとよいでしょう。

何度も言いますが、君たち大崎生はもっと大きく成長する可能性があります。人は、今までできなかったことができるようになる時ほどうれしいことはありません。そのようなことが一つでも多く実感できる、そういう1年であってほしいと願っています。

男子バスケット部 関東大会にあと一歩

4月29日(月)関東大会予選の5回戦が行われ、ベスト8常連の強豪校を相手に77対76の接戦で勝利、見事ベスト16となりました。強豪相手に憶することなく堂々と立ち向かい、終盤追いつかれそうになるプレッシャーをはね退け、チーム一丸となって戦う姿に、大きな感動と勇気をいただきました。次の試合は駒沢体育館で行われ、あと一歩のところ関東大会出場を逃しましたが、この勝利は大崎高校にとって大きな勝利(第一歩)になったと思います。この勝利を胸にさらなる高みを目指してください。



防災支援隊の活躍

防災部は5月18日(土)品川区合同水防訓練に参加し、消防隊や消防団に交じて土のう積みの訓練を行いました。また25日(土)には二葉町で行われた防災フェアに参加し、AEDの実演講習を行いました。こちらの方は、ダンス部、和太鼓部、吹奏楽部、ダブルダッチ同好会も参加してくれて、地域の方々に演奏や踊りを披露してくれました。毎度のことですが、こういったイベントに参加するたびに、大崎の生徒さんは大変素晴らしいと地域の方々から感謝されます。本当に熱い最中、皆さんご苦労様でした。



部活動は、仲間と様々な思いを共有できる大切なひと時であり、学生時代でしか味わえません。もし入っていない人がいたら是非加入してください。

若いうちの苦労は買ってでもせよ！

教務部 廣見 卓哉

心身共に若いうちに、自分と向き合い、徹底的に鍛えよう！

さて、新学期が始まり一か月余り。どんなスタートを切ったでしょうか？教務部という分掌は皆さんの勉強を時間割や教育課程、定期テスト実施などで支えているセクションになります。学校生活の時間を管理しているという観点から、高校時代の時間が持つ大切さを考えていきたいと思いません。

君たち高校生は何といっても若いというアドバンテージがあります。

若いということは、体も心も柔軟でしなやか、吸収力抜群！その若い時に「苦労は買ってでもせよ。」ということわざがあるのは周知の通りですよね。この言葉の意味を考えてみたいのです。まず、基本の意味は、若い時の苦労は将来役立つので求めてでもした方がいいということですね。苦労とは、肉体的、精神的につらいことを乗り越えるときに味わうものでしょう。自分の弱さ、甘さと向き合い、乗り越えたときの達成感や充実感を感じることで人間的に成長するということでしょう。

また、苦労とは、時に失敗するということも意味するでしょう。一般的には失敗はできれば避けるべきと考えられがちですが、若いうちは逆に失敗を繰り返した方が早く成功に近づけるでしょう。たくさん挑戦し、失敗することで様々なことを学び、人として成長するのではないのでしょうか。ホンダを創設した本田宗一郎という人も言ってます。「成功から学ぶことは少ない、失敗して人は成長する。」「みんな知らないが、自分がやって成功したのはたった1%にすぎない。」何と、示唆に富む言葉でしょう。

また、頭を若いうちに徹底的に鍛えることも大事です。脳は前頭葉という部分にガンガン情報を入力し処理することで鍛えられるといえます。自分の甘えや弱さに打ち勝ち、若いうちに、苦勞して勉學に打ち込むということが必要です。

人間とは弱いもので、自分ができないことを、他のせいにして、言い訳をしてしまいがちですね。できないことの言い訳はいくらでもできます。しかし、人生、やるべきと思ったことをやるかやらないか、自分次第です。何かできないことを他のせいにして言い訳しようとしている自分がいたら、「言い訳、無用！」と自分で叫んで前向きに頑張りましょう！どんどんと成長していくことでしょう。

ファイト！大崎生！我ら大崎 誇りを胸に！

生活指導は誰のため

生活指導部 田中 信吾

今年度は、私が大崎高校に来てから4年目となります。最初の年は、朝正門に立っていても挨拶をする生徒は少なく、8時25分のチャイムが鳴り終わった後に、遅延証を片手にコンビニの袋を下げてゆっくり登校する生徒が大勢いました。

今は、ほとんどの生徒が挨拶の声をかけてくれ、8時20分が近づくと走ってくる姿が見られず。本当に大きな変化だといえます。

私は、高校生活への思いが変化の原因ではないかと感じています。

「大崎高校で〇〇を頑張りよう！」という思いです。

〇〇には、1人1人違うことが入ると思います。勉強、部活動、行事、趣味などなど、人は頑張りようと思うことがひとつでもあると、それにつられて、ほかのこともきちんとしてきます。逆に言えば、頑張りようと思うこと以外がきちんできてないと、頑張りようと思っていることで結果がついてこないことが多いと思います。

勉強や部活動、その他のことについても丁寧に取り組み、頑張ることができなければ結果はついてきません。集中して取り組むために、学校全体が落ち着いていることがとても大切なのです。1人1人が、安全に落ち着いて学校生活を送れるようにルールがあり、みんながルールを守って生活をしてきているので、大崎高校は変化してきました。これからも自分自身の「頑張ろう」と思っていることの実現のために、落ち着いた学校生活を送ってほしいと思います。

将来の夢を実現するために

進路指導部 石村 晶子

進路指導部は、高校生活3年間におけるキャリア教育の部分を担当しています。具体的には、3年生の希望進路実現に向けた取組と、新しい入試改革への対策に取り組んでいます。

みなさんもお存じのように、来年度から新しい大学入試の制度がスタートします。大学進学を考える3年生にとっては、何とかして今年度中に決めたいもの。しっかり対策を立て、計画的に受験勉強をしてください。とにかくやりきること、精一杯励むこと。限界を超えたところに、新しい道は開けます。みなさんには多くの可能性があるのです。将来の夢を実現するために、この一年間は、今までで一番頑張った、と言える年にしましょう。

さて、1、2年生は、まさに新しい入試制度のもとで、受験することになります。大学共通テスト、英語4技能の評価、主体性の評価などが導入されます。

主体性の評価は、調査書によるものと、受験生本人が申告するものがあります。こういったことから、今年度から1、2年生にはClassiを導入しました。日々の取組が記録できるクラウドです。毎日活用していますか。日々の勉強時間を記録するだけでもよいです。1か月記録をしてみると、視覚的にも勉強した実感が持てると思います。計画的に勉強ができていないとか、好きな科目ばかりでバランスよく勉強していないなど客観的に見直すこともできます。見直すことができれば、改善することもできます。次は、どのように勉強したらよいか、考えてみてください。勉強時間と成績は比例しています。まず自分の勉強時間を記録してみましょう。

大崎高校の卒業生たちも、険しい道を歩み、希望進路を実現してきました。先輩ができたのだから、みんなも大丈夫。進路指導部は、頑張るみなさんを全力で応援します。

高校生活の目標

1学年主任 吉岡 香子

高校生としての新しい生活が始まり2か月余りが経ちました。通学や生活に慣れてきましたか？

- 1学年は
- ・仲間と自分を互いに尊重すること
 - ・高い夢や目標を持ち、その夢・目標を達成するよう努力と工夫を続けること
 - ・社会の一員として礼儀正しく生活できるようになること

を目指しています。仲間と共に努力を続けると、想像以上に大きな成長を遂げることができます。日々の授業、部活、これから続く様々な行事などに一つ一つ自分の全力で取り組む毎日を過ごしましょう。

積極的に考え行動し活躍を！

2学年主任 伊堂寺 豊

新しいクラスも1ヶ月以上が経過しました。名前と顔は覚えましたが？自分たちで良い関係が築けていますか？昨年度1年間を振り返り、あと、たった2年しかない高校生活を充実させて下さい。

2学年（第72期生）の理念は、昨年度同様、

- ◎ 自ら考え、積極的に行動する
- ◎ 個性を尊重しあう
- ◎ 常に向上心を持ち、1ステージ上の自分を目指す です。

2年生は各行事を中心として動くこととなります。3年生の背中を見て、1年生を引っ張れるように、積極的に考え行動し活躍してください。期待しています！

できるだけ明確な目標を持った学校生活を目指しましょう

3学年主任 山口 哲男

ついに最後の年度を迎えました。気分を一新して何事にも積極的にかかわってほしいと思っています。進路の希望は、具体的に決まってきているでしょうか。自分で日々学習を続けながら、自分のしたいこと、自分の好きなこと、自分の研究したいことが、何なのか、を発見できているでしょうか。これを追究するのは、言ってみれば、高校生の「仕事」であると考えます。夢を持ち、それを具現化するためにはどうしたらよいか、をしっかりと見つめ、考えて、積極的に行動してゆかねばなりません。

（気付いたら）ここで生きていますが、生きてゆく以上は、より良く生きたいと考えるのが（知能の高い（社会的）生物としての）ごく自然な反応（広い意味での行動）でしょう。

まもなく、具体的に受験に取り組まねばならない時がやってきます。一刻も早く、試験突破に必要な力（例えば暗記、理解などによって培われる基本的な知識）を向上させましょう。また、面接で、より良い反応をするための見識を深め、広めましょう（読書による大きな効果が期待されます）。これらの総合的な力が問われる局面を迎えます（言うまでもありませんが、敢えて強調します）。

目標を立てることができれば、あとは強い意志と実行力の発揮、あるのみです。もうそれほど時間はありません。ゲームやスマートフォン中心の時間の浪費などもってのほかです。自分に負けることなく時間を有効に使ってください。期待しています。